

あとがき

猿が庭先に来る，というと，なにか里山ののんびりした風景を思い浮かべますが，実際は全く違うのです。私の京都の家は，北山地区の山の中腹にあります。後ろは，上賀茂神社の寺領である神山とそれに続く国有林（一部は京大農学部演習林）で，うっそうとした森です。2年前から，そこに住む猿の軍団が，近辺に現れるようになったのです。わが家的には，2年前の春のある休みの日でした。朝早く，どたどたと家を揺るがす物音がしたので，女房が階段から落ちたかと思って，見に行ってみました。なんと，庭に猿が数匹おり，屋根の上から飛んだ音だったのです。ちょうど，庭にできていた季節はずれのみかんを食べられました。もちろん，棒をもって追いかけていましたが，相手は猿のこと，あっという間に山の中に姿を消したのです。それが，ことの発端で，その後，数か月に1回，多いときは，30匹ぐらい，お父さん，お母さん，息子，娘，赤ちゃん，とやってきて，庭をまるでわが家のようにうろつき，ささやかな家庭菜園のレタスなどを食べるのです。最近では，月に1回，まるで，回診のようにやってきては，悪さをする次第です。あるときなどは，女房がメールをしていて，ひょいと窓の外を除いてみると，猿が庭のぶどうを食べながら，じっと窓越しに見ていた，というような笑えぬ話もあります。聞いてみると，山には，約6家族の猿の集団が住んでいるようです。これが，交代に出没するのです。もちろん，出てくるたびに，おまわりさん，市の職員がやってきて，花火を打ち上げて，音で驚かします。はじめは逃げていたようですが，8月のお盆のときは，既に学習済みで，音だけで怖くないとわかったようで，逃げもしません。もっとも，市職員の乗ってくる軽自動車に猿のステッカーを貼っているの，なめられているのかもしれませんが。おまわりさんに聞くと，猿に囲まれて襲われそうになったこともあるとのこと。驚いたことに，猿が出てきた数日後には，なぜか鹿も近辺に出てくるのです。この話を孫にしたら，「ライオンも出てくるの？」「お庭は動物園ではありません！」（瀧川 雅浩）

〔編集委員〕

瀧川 雅浩
伊藤 雅章
塩原 哲夫
渡辺 晋一
天谷 雅行
中川 秀己

学会・研究会のお知らせ掲載

皮膚科関連学会・研究会のお知らせを無料で掲載いたします。開催期日（演題募集がある場合は締切日）の3か月前までにご本誌編集室までお寄せください。

臨床皮膚科（第64巻 第10号）

2010年9月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 2,835 円（本体 2,700 円＋税 5 %）

（2010 年年ぎめ予約購読料 39,930 円
電子ジャーナル閲覧オプション付
52,000 円
増刊号を含む 13 冊・税込・送料小社負担）

（担当：小松原・安部）

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5715

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinhifu@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- **JCOPY** <（有）出版者著作権管理機構 委託出版物>
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は，そのつど事前に，（有）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ（インターネット）は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床皮膚科」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinhifu/>